

ジャグパル

JugPal

1999年12月8日 第6号



リポート

【第3回 欧州連合ストリートフェスティバル in バンコク見聞録】

1999年11月21日(土)22日(日)に第3回EUストリートシアターフェスティバルが行われました。7カ国から8組の芸人さんがやってきました。
場所は王宮の裏手、シラパコン大学(芸術系の大学)とタンマサート大学(チュラロンコーン大学に並ぶ超名門国立大学)の間の通りです。

中心になるのはEUのパフォーマー達ですが、路上落書き用チョークが提供されたり、シラパコン大学学生による似顔絵描き、各種塑像彫像展示、何だかよく分からぬ音楽家達、タンマサートの学生による音楽演奏、妙に安いプレイステーションソフトの屋台などなどがあって大変ごたごたしています。

EU主催のお祭りが核になってみんなで楽しむようになっており、とても良い雰囲気でした。
わたしは21日だけ鑑賞してきました。

◆芸人たち◆

Le Segu Del Canto:
(Actors: Jouni Salo, Markus Pulkkinen)

フィンランドから来た二人組のストリートミュージシャン。ギターとミュージカルソロ。
二人ともきちんとした礼服風の衣装ですが、ノコギリ奏者は髪の毛がモシャモシャで、黒服の肩には白い粉(多分フケという設定)がたっぷりまぶしてあります。
この風貌で何かおかしいことをやってくれるのだと思いますが、途中から観たので単にヘンな格好したストリートミュージシャンにしか見えませんでした。

至って平凡ですが、弓を使わないノコギリピッキング奏法を初めて見たのは特筆の価値あり。
ピッキングで「テイクファイブ」を演奏していました。手持ちマイクで音を拾っていたので、今後はピックアップを仕込むなどしてエレクトリックノコギリ(電ノコにあらず)の可能性を探ってほしいところです。

Biplan: (Actors: Simon Gweaelle, Eric Kuratle)

フランスから来た2階の住人たち。良く言えばハプニング系、悪く言えばネタのない背が高いだけの男女二人組のスタイルトウォーカー。
正直なところ何だかよくわからない人たちでした。チラシのスタイル写真はかっこいいんですけど.....。



The Ostrich Riders:
(Actors: Kalle & Peter Krauser, Insa Jansson)

ドイツ人ですが、ホームズとワトソンのような二人組がそれぞれ駝鳥にまたがって颯爽と登場します。駝鳥の背中(つまり駝鳥の騎手が座るところ)まで約2mありますから、かなり大きな駝鳥です。
ヨハンシュトラウスのワルツに合わせて駝鳥を踊らせたり、道の真ん中にお客さんを横たえて、おびえて嫌がる駝鳥にまたがせたりと巧みに操ります。
最後には猛スピードの曲に合わせて駝鳥を猛スピードで踊らせてルーチン終了。音楽にぴったり合わせてステップを踏む駝鳥はなかなかの見物。

それからウォーキング芸に移行して道行く人々を驚かせて楽しんでいました。
もともとはウォーキングのハプニング芸が本性でしょう。
乗り物の性質上、駝鳥のボディーに隠れて直下の足下が見えないという危険があります。

酔っぱらったおじさんがパフォーマンスエリアを歩いて通過しようとしたらセキュリティに荒々しくひつかまえられてかなり痛そうな音で背中をどつかれていたのが印象的で、大道芸空間に居ながらここがタイであるという現実に引き戻されたのでした。
種明かしてしまえばこの芸もスタイルトウォーキングでした。

Antiche Tradizioni Popolari:

イタリア発、シチリア地方の民族衣装をまとめて音楽と踊りを披露するというもの。伝統文化保存的な感じで、笑いや驚きにつながらない。ユネスコ村あたりで見かけそうな雰囲気。ちらりと見てパス。

I Luoghi Dell'Arte; (Actors: Marco Luly)

コメディアデラルテの何たるかを知らずに見たので今ひとつピンとこない。
アルレッキーノがタイにやってきて何だかんだと喜劇的な異文化体験をするという筋立ての様子。英語を媒介にしたイタリアとタイの交流を日本人が見るという構図になってしまったのでなおさらよく分からず、早々に観客の輪を出ました。
わたしづかりでなく、観客の輪の人の出入りが割と盛んだったようです。言葉を使った芸の海外進出の難しさを感じます。

Koen Olie:

黄色と黒のチェック一帽子を被ったとても大柄(190cm以上ありそう)な人。
通りかかったときは丁度演技終了の時で巨大なカメラを持っていました。それから演技に遭遇する機会がなく、残念。演技していないときに街を歩いている姿もとても爽やかで絵になる、いい雰囲気の芸人さんです。

Joana Grupo de Teatro;

(Actors: Ana Maria Mourat Pereira, Antonio Jorge da Silva Teixeira, Crestina)

未見。黒装束に鼻から上の揃いの面を着けた半ダースほどのクローン人間(?)が控え室のシラバコン大学から出てくるところだけ見ました。
妙ちきりんな面のせいもあり、大変氣色悪い。
ポルトガル伝統の有名キャラクタなのだろうですが、第一印象が悪すぎてわざわざ見る気になりません。残念。

The Invisible Men;

(Actors: Ian Wood, David Solomons)

大英帝国発、観客巻き込み型サロン系芸人。音楽を効果的に使っているので、PAの質が結構重要。昨年の大道芸ワールドカップin静岡ではかなり優秀な音響装置だったのですが、今回は再見だったことと音がぶつ切れでひどかったことで印象は今一つ。

ただし、初めて見る人には無茶苦茶楽しかったようです。客席最前列に陣取ったところ、人まね、家族の肖像、交通違反、感動のゴールインの4種目に巻き込んでもらいました。
人まね芸は、特に急ぎ足で通過していく人にサササッと合わせるのが秀逸。
客席の誰かを狙うよりもハプニング性が高いし、動きがあります。

人体交換の時に使った拘束衣は観客にはあまり馴染みがないものなので(まあ、馴染みがあつたらヘンです)大まじめに真剣な顔をしながら股間に含めて体をがんじがらめにするというで笑っていました。
きっと演者としては不本意でしょうが、そういう文化なのだから仕方がないのかな、と思います。

1回目のステージの評判が高かったらしく、2ステージ目はさらにものすごい人だかりでした。
たまたま通りかかったら、野毛大道芸のピーク時以上の混雑で、人の波に乗って流れるしかありませんでした。いや、すごかったです。
ところで、わたしも結構サービス精神旺盛に巻き込んでもらったので、終演後に地元プレスに取材を受けそうになりました。しかし、タイ語が判らなかったのでお話になりました。

その他地元系:

プロモーションに来ているタイ人マルチパフォーマーも数人来ていました。バタ臭い大道芸の認知度はまだまだ低く、野毛大道芸や大道芸ワールドカップin静岡の評価が高まる以前の日本よりなお認知度が低いように感じました。

大道芸用プロップはどれもこれもエキゾチックに見えます。(苦笑)
しゃべりながらやる芸が大半だったので、母国語だと楽しいかと同行者のタイ人に尋ねたところ、そうでもないようでした。以下、いくつか見かけた芸。

- ・ロッキー君の友達のスカンク
- ・3ボール各種
- ・3クラブ→5クラブ(うち3本は一体)
- ・ディアボロ
- ・ジェスチャー(とてもパントマイムとは呼べません)
- ・ディアボロ
- ・バルーンモデリング(へたくそ)

◆運営等◆

L字型の通りを約2km使った会場の演技ポイントは公式には7カ所でした。
案内所が1カ所しかなく、そこに見取り図と演技のタイムテーブルが掲示されていましたが、それ以外の場所では全然判らない。

特に、通りの反対側から入場してくると全ての演技ポイントを通過しないとその案内所にたどり着けない、とてもまずい運営でした。音響装置が置いてあってセキュリティの人がいるあたりが演技ポイントだろうと見当をつけますが、地元系の人が勝手に(?)演技ポイントを作ってしまったりしてよく判らない。

少なくとも招待芸人が出る場所には案内板と『次の演技開始はXX時YY分』ぐらいの掲示がほしかったところです。また、チラシの芸人プロフィールの欄には大雑把で良いから演技の所要時間が書いてあると鑑賞計画が練りやすくなるので好ましいと思います。

このフェスティバルでは招待芸人は投げ銭を求めていませんでした。
投げ銭を求めて大した収入にはならないからと、主催者側から十分に手当が支給されていたのででしょう。
(投げ銭系の芸人が少なかったのも事実です。)参考までに、地元系芸人が投げ銭を求めたときは、帽子にはほとんどお札は入りませんでした。

ここ的小銭は最高額が10バーツ(日本円にして30円弱)です。ただし、バンコクでの法定最低賃金(日当)が150バーツいかないぐらいだったと思います。屋台飯が20~30バーツ。
物価を考えるとまあ悪くないお金を放っているのですけど、この程度では質の高いパフォーマーは育ちにくいし招きににくいところです。

ところで、地元の演芸と言えばカフェーでの漫才やコント、歌謡などが代表で、芸を賞賛するには現金をやる場合もありますが、花を買って舞台上の芸人に贈るという風習があり、その花代の一定割合が後ほどその芸人にキックバックされるシステムなのだそうです。

EUストリートシアターフェスティバルでも主催者側で花売りを用意して、気に入った芸人には花を贈るというシステムでも作ったら面白い気がします。
キックバックのあるなしにかかわらず、目に見える形で芸の評価がされるのは大道芸人にとって何よりの喜びでしょうから。

[戸谷 玄 <KHB04546@nifty.ne.jp>]



サークル紹介

このコーナーでは、全国各地のジャグリング・サークルを順次紹介していきます。

今回は「福岡ジャグリングクラブ FJC」の紹介です。

なお現在把握しているのは以下のサークルですが、ほかにご存じのサークルがありましたらご紹介ください。(順不同)

◆福岡ジャグリングクラブ FJC(福岡)……本号にて紹介

<http://zodiac30.cse.kyutech.ac.jp/~ooshige/Juggling/>

◆筑波大学附属駒場中学・高等学校ジャグリング同好会 筑駒Jugglers(東京)……5号にて紹介

<http://www.geocities.co.jp/Berkeley/1242/>

◆所沢 Juggling Club "JUGFLY"(埼玉)……4号にて紹介

<http://raphael.mech.kogakuin.ac.jp/~ichiro/juggling/jugfly.html>

◆綾瀬ジャグラーーズミーティング JAM(神奈川)……3号にて紹介

<http://super.win.ne.jp/~marjie/JAM.htm>

◆ジャグリングクラブ マラバリスタ Malabaristas(東京)……2号にて紹介

<http://msgkb.ms.u-tokyo.ac.jp/malabaristas/>

◆ジャグリングサークル JUG(大阪)……1号にて紹介

◆静岡大道芸サークル WAPS(静岡)

<http://www.bekkoame.ne.jp/ro/tomi/waps/>

◆京都大道芸俱楽部 Juggling Donuts(京都)

<http://juggling-donuts.org>

◆私立武蔵高校ジャグリング愛好会(東京)

◆横浜大道芸俱楽部 YDC(神奈川)

◆英和女子短期大学ジャグリングクラブ(山梨)

◆日本福祉大学大道芸サークル(愛知)

◆大津ジャグリングクラブ(滋賀)

◆大阪大学ジャグリング同好会(大阪)

◆曲芸戦隊ジャグレンジャー(広島学院高等学校)

FJCは福岡在住のジャグリング好きが妙な縁から集まって作られたクラブです。昨年1998年の秋に発足されたクラブで、メンバーはまだ5~6人しかいませんが、和気合い合いと練習しています。

練習の内容は主にポールやクラブ、ディアボロ、シガーボックスなどです。
ステージでのルーチンや観せ方を考え、宗像市の九州大道芸まつりに備えることもありますが、根底にある考えは『ジャグリングと言うスポーツを楽しむ』というものです。子供から老人まで一生続けることが出来るスポーツ『ジャグリング』がこの福岡、そして日本に浸透するように頑張って行きたいと考えています。

お役立ち情報

【ジャグリング用品個人輸入の手引き -その2-】

前回にお約束した、個人輸入可能なジャグリング用品店の一覧をお届けします。

(注) お願い: 前号の海外通販のための手引きを必ずご参照の上、ご利用ください。

その前に、日本から海外通販を利用した場合の失敗例を注意事項の追加として挙げておきます。

(1) 電子メールで注文をするさいに「全角アルファベット」と呼ばれる、漢字やひらがなと同じ大きさのアルファベットで英文を書いて送ってしまった。

全角アルファベットは日本独自の文字コードなので、これを使って書いた英文は、他の国のコンピュータでは読むことができません。

全世界共通である ASCII コードのアルファベット(半角英数字)で英文を書いて送るようにしてください。

(2) 海外通販の注文文例を参考にしたのはいいが、記入欄に日本語やローマ字表記の日本語で記入して送ってしまった。



現在九州大学と九州工業大学にジャグリングの同好会も出来、またウエブページなどを見て練習に参加しに来てくれるなど、少しずつジャグリングの輪が広がっています。

基本的に練習は毎週金曜日(PM6:00～PM9:00)北九州市の八幡西勤労青年ホームの一室をお借りして行っています。初心者からプロの方まで大歓迎ですので是非遊びに来て下さい。

ホームページは以下の通りです。

<http://zodiac30.cse.kyutech.ac.jp/~ooshige/Juggling/>

[大重 直樹 <ooshige@zodiac30.cse.kyutech.ac.jp>]

当然、海外のお店では、日本語やローマ字表記の日本語を読むことはできません。

(3) 英和翻訳ソフトを過信し、日本語で書いた注文書を翻訳させて、そのまま送った。翻訳ソフトは、ジャグリングの道具の名前などを正しく訳してくれません。

当然、できあがる英文は支離滅裂で珍妙なものになり、お店側では対処できません。

(4) 注文に添えられている、注文主の電子メールアドレスが間違っている。電子メールアドレスの前に日本語表記で名前が入っており、その後のアドレスが文字化けしている。お店側から何か問い合わせがあることもあっても、連絡の取りようがなくなり、音信不通になります。

上記の中には冗談のようなものもありますが、どれも実際にあった事例だそうです。また FAX は送信の途中で途切れてしまうこともあるので、先頭の方に自分の連絡先を書いておく方が安全です。

前回も書きましたように、注文のために必要な情報を正しくお店に知らせることができなければ、間違ったものが届いたり、いつまでも音沙汰なしになたりして、

(3) 注文した人が困るだけでなく、お店の側も対処に困ります。

す。

海外通販は難しくはありませんが、「英語はまったくダメ」という人は国内の業者を利用したり、人に頼んだりすることを考えてください。

◆訂正事項:

「1-800 で始まる、フリーダイヤルの番号は日本からかけられない。」と前号で書きましたが、KDD に問い合わせたところ「日本からかけた場合、フリーダイヤルにはならずに国際電話料金がかかるが、通話そのものはできる。」

ということでした。お詫びの上、訂正いたします。

.....

『ジャグリング用品店一覧表』

ジャグリング用品店には、自社で大半の製品を製造しているところと、他社のものを販売するだけで製造はしていないところがあります。

ここでは、前者をメーカー、後者をショップとしました。メーカーでも、自社で製造していない商品は他社から仕入れて売っています。

この場合、仕入れ先のメーカーの名前を明示している場合と、明示せずに自社の名前で売っている場合があり、後者の場合 A 社と B 社の商品が実はまったく同じもの、ということもあります。

また、小売店や問屋だけと取引し、個人からの注文を受けないメーカーや、国ごとに代理店を置き、代理店のある国からの注文は受けないメーカーもあります。このようなメーカーからの通販はできませんが、ショップを通して買う場合の参考として別途まとめて紹介します。

特に断りがない限り、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレスが書いてあるものは、電話、FAX、電子メールによる注文、問合せが可能です。

FAX は 24 時間受け付け可能であり、時差の心配が不要なことを確認しました。

FAX に対する返信をしてくれるかどうかは、国際電話代が高いため、店によって違いがあります。

電子メールによる返信はどの店でもしてくれますので、可能ならそちらを利用しましょう。

なお、ジャグリング関係の店は、どこも小企業です。繁忙期、休暇などで連絡が遅い場合もあります。返信の催促は 1 週間ほど待ってみてください。

◆お断り:

ここに示した店すべてについて、筆者が通信販売を利用した訳ではありません。

店の情報については、電子メールによる問い合わせを行ない、1999年9月の時点での最新の情報を集めていますが、将来、変更があることは十分にありますので留意してください。

店の特徴については、これまでに筆者個人が見聞した情報に基づいており、ある程度の偏りがあります。

(店)と書かれているコメントは、店側からのメッセージ、注文する上で特に注意して欲しい事項などです。ここに挙げた以外にも、いくつかのメーカー、多数の

ショップがありますが、十分な情報を得られなかつたメーカー、通販で利用する上で特に長所がないショップは掲載していません。

◆メーカー(アメリカ)◆

Brian Dube

520 Broadway 3rd Fl., New York

NY 10012-4436, USA

TEL: +1-(212)-941-0060 FAX: +1-(212)-941-0793

E-mail: info@dube.com

Web: <http://www.dube.com/>

利用可能カード VISA, Master, AMEX

カタログ無料。Web 暗号化注文未対応。要求があればFAX で受注確認を送付する。

一通りのジャグリング用品を製造、販売している。日本での普及度は他社に比べてかなり高い。近年、ヨーロピアンクラブを軽量化したが、人によって好みが分かれる。書籍も多数出版している。

(店)品質に自信あり。品揃え豊富。改良を重ねている。

Todd Smith Products

13401 Lakeshore Blvd., Cleveland, OH 44110, USA

TEL: +1-(216)761-6388 FAX: +1-(216)589-4735

E-mail: todd@toddsmith.com, sales@toddsmith.com

Web: <http://www.toddsmith.com/>

利用可能カード VISA, Master, AMEX

カタログは無料。Web 暗号化注文未対応。要求があればFAX で受注確認を送付する。

一通りのジャグリング用品を製造販売している。Dube と並んで、製品には定評があり、アメリカでは広く普及している。残念ながらカタログは白黒。

(店)品質とユーザサポート、価格に自信あり。

Renegade Juggling Equipment

PO Box 406, Santa Cruz, CA 95061, USA

TEL: +1-(831)-426-7343 FAX(新): +1-(831)-426-7344

E-mail: sales@renegadejuggling.com

Web: <http://renegadejuggling.com/>

利用可能カード VISA, Master

今年からの試みとして紙のカタログを廃止し、Web 上のカタログだけに絞った。

Web 暗号化注文は一部対応。FAX 返信には応じる。

一通りのジャグリング用品を製造販売している。

ナンバーズ用の小ぶりなクラブ、プラスティック製の Renegade ディアボロ(上級者向け)、Fire Staff, Fire Cable, 玉乗りの玉など、他社にない製品も多い。

なお、Aero Tech Project の製品(光るボール、光るディアボロ)は取り扱いをやめた。

(店)「品揃えに自信。メーカー直販で安い。」

Infinite Illusions

PO Box 2584, Tallahassee, FL 32316-2584 USA

TEL: +1-850-385-6463 FAX: +1-850-668-5825

E-mail: infinite@pd.net (新)

Web: <http://www.yoyoguy.com/>

利用可能カード VISA, Master, AMEX

カタログ請求は有料 \$2.00、購入時には無料で同梶。間違いを防ぐため、e-mail より Web 上のフォームを使っての注文を勧めている。Web 上での注文は暗号化されているが、その場合も顧客保護のためクレジッ

トカードの署名を FAX か郵送のこと。特に問題がない限り、FAXでの受注確認はしない。

最近ではヨーヨーブームのためにヨーヨー販売会社のようになってしまったが、ジャグリング部門は独立した人員構成で継続している。ヨーヨーブームの際は注文が殺到し、店と顧客の両方にそれぞれ混乱や問題が生じたようである。トーチの耐久性には定評がある。

(店) 自社製品(トーチ、デビルスティック、シガーポックス)以外については、色の希望に添えないこともある(特にヨーヨー)。

◆アメリカのショップ◆

Serious Juggling

Web: <http://www.seriousjuggling.com/>

利用可能カード VISA, Master, AMEX

アメリカ各社の製品だけでなく、ヨーロッパ各社の製品も幅広く扱っているので、各社の製品を取り混ぜて買いたいときには便利である。ヨーロッパもののビデオや書籍、新体操のボールやリボンも扱っている。店主の Ben Schoenberg はジャグリング界の情報にとても詳しく親切な人なので、探し物があれば問合せてみる価値はある。

(店) 各社取り扱い。品揃え豊富。色は第二希望も指定されたし。

IJA (International Jugglers Association)

P.O. Box 218, Montague, MA 01351, USA

TEL: +1-413-367-2401 FAX: +1-413-367-0259

E-mail: Secretary@juggle.org

Web: <http://www.juggle.org/>

利用可能カード VISA, Master

カタログ(ビデオリスト)は無料。Web 暗号化注文未対応。FAXへの返信可。

アメリカを中心としたジャグラーの団体。毎年の IJA フェスティバルの競技会での演技(Championship)や大会中

の行事の様子(Highlights)などを記録したビデオや教材ビデオを通信販売している。非会員でも購入可。入会申

し込みも同じ連絡先へ。

◆ヨーロッパその他のメーカー◆

Vipa(イギリス)

The Alternative Technology Centre,
Hebble End Mill, Hebden Bridge,
West Yorkshire, ENGLAND, HX7 6HJ

TEL: +44-01422-846648 FAX: +44-01422-846837

E-mail: salesline@vipa.co.uk

Web: <http://www.vipa.co.uk/>

利用可能カード VISA, Master, AMEX

紙のカタログは 9 月現在なく将来は送料請求の見込み。

Web 暗号化注文未対応。FAX 返信は問題がある時のみ。

イギリスで今年から活動を始めた新興メーカー。

装飾だけでなく部品の長さ、重さまで自由に選択して好みのクラブを作れるシステム、両端のおもりを調整して挙動を変えられるデビルスティック、アルミ製軽量ナイフなど野心的かつ革新的な製品を作って、ヨー

ロッパで話題になっている。真の評価はまだこれからか?

(店) 価格から国内税 17.5% を引いたものが、海外向け価格。送料は 30%。

Oddballs(イギリス)

24 Kensington Gardens, Brighton

East Sussex, BN1 4AL, UK

TEL/FAX: +44-(0)-1273-696068(共通)

E-mail: info.oddballs@ic24.net

Web: <http://www.oddballs.co.uk/>

利用可能カード VISA, Master, AMEX, JCB

カタログは無料だが、写真はない(写真は Web 参照)。Web 暗号化注文未対応。FAX での問合せには応じる。

一通りのジャグリング用品を製造販売しており、特にバウンシングボールはシリコンボールより安くてよく弾む。

Fire Staff や Poi などの火を着けて振り回す道具、Aero Tech Project の光るボールも扱っている。JCB が使える。

(店) 自社製バウンシングボールとディアボロに自信。

Jonglerie Diffusion S.A.(スイス)

Case Postale 2

CH - 1232 Confignon - Gene've - Suisse(Switzerland)

TEL: +(41) 22 - 757 32 07

FAX: +(41) 22 - 757 31 38

E-mail : info@jonglerie.com

Web: <http://www.jonglerie.com/> (12/4 現在異常あり)

利用可能カード VISA

カタログはカラーで無料。Web 暗号化注文未対応。FAXへの返信は必要なときのみ。

Mister Babache というブランドで普及品から高級品まで一連のジャグリング製品を製造しており、特にディアボロとビーンバッグは世界中に普及している。

個人への直接販売よりショップへの卸しが主である。

日本からの注文も受けつけるが、送料が高いので日本の代理店(ナランハ)への注文を勧める。

Beaming Balls Ltd(ニュージーランド)

PO Box 22-397, Christchurch, New Zealand.

TEL: +64 800 321 333 FAX: +64 3 358 3370

E-mail: info@juggling.co.nz

Web: <http://www.juggling.co.nz>

利用可能カード VISA, Master, AMEX

紙のカタログはなく Web 上のみ。Web 暗号化注文未対応。必要があれば FAX 返信可。

長い紐の先にボールを付けて振り回す Poi(ニュージーランドのマオリ族の民俗芸能が起源)だけを専門に売っている。主力製品は光る Beaming Poi。入門ビデオあり。

通信販売が可能かどうか情報が不明なメーカー

◇追加注意事項:

国際電話、国際 FAX には国番号が必要です。

+1-XXX-YYYY-ZZZZ, +44-AAAAA-BBBBBBB などの 1あるいは 44 はそれぞれアメリカ、イギリスの国番号です。KDD(001)を使ってかけるなら 001-1-XXX-YY Y-ZZZZ, 001-44-AAAAA-BBBBBBB のようにダイアルします。

日本の電話番号、FAX 番号を書く際には、日本の国番号 81 をつけ、市外局番の先頭の 0 を外します。03-XXXX-YYYY なら +81-3-XXXX-YYYY のように書きます。



誌上ワークショップ

さて！遂に今号から始まりました、ジャグパル誌上シガーボックス・ワークショップ！今までシガーボックスに触ったことのない人も、この機会にぜひお試しあれ！シガーボックスの初步の初歩から進めていくので、このワークショップを読め進めていけば、あなたもきっと素晴らしい※「シガーボクサー」になれます。

※「シガーボクサー」とは私が勝手に言っている言葉なので、他の人に言っても分からぬどころか、仲間外れにされる危険性を含む言葉です。使用の際には十分気をつけて使うように！

限られたスペースなのでイラストを今回は出来るだけ省きました。より難しいトリックになったときには、なるべく沢山のイラストを入れるようにします。悪しからず。

Step1 シガーボックスの持ち方 (ホームポジション)

両方の箱を左右それぞれの手で持ち真ん中の箱を落とさないように挟みます。力を入れ過ぎないこと。真ん中の箱が落ちない程度の力加減。

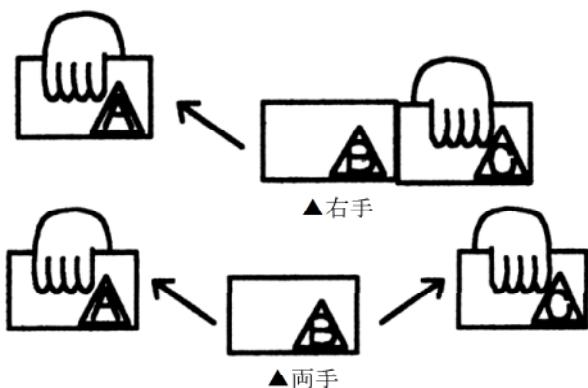


この姿勢をホームポジションと言い、今後断りがない限り、説明はこのホームポジションからの動作となります。

Step2 離してみよう

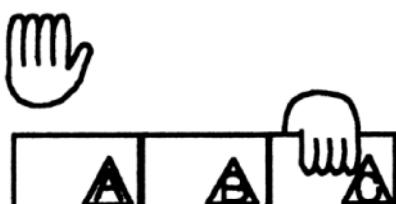
次に左右のシガーボックスを真ん中の箱から離してみよう。最初は自分の得意な方の手で。次に反対の手。両方の手。

注意点：ひざと腰をよく使うこと。ゆっくりとひざを沈めて伸ばすと同時に箱を離し、ひざを沈めるときにまた挟む。ゆっくりと、でもしっかりと箱を上に上げること。



と。

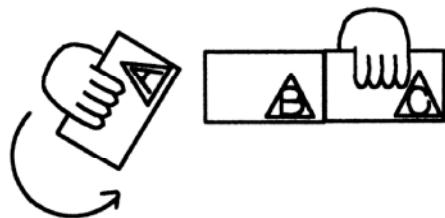
この運動で力加減とひざや腰の使い方を覚えて下さい。左右両手の箱を離すときは、真ん中の箱をやや浮かせるような感じで。出来るようになったら、箱から手だけを離してみよう。こ



Step3 回転させてみよう！

れも右、左、左右同時。左右同時に離したときに手を叩いたりもしてみよう！

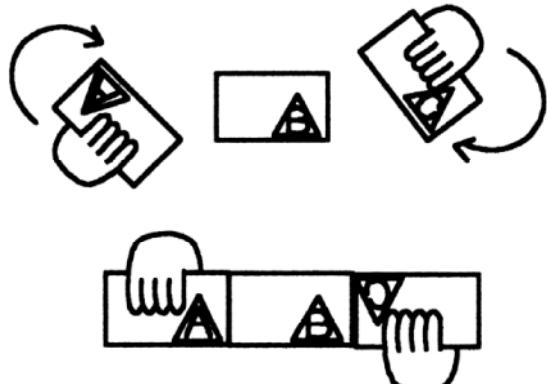
今度は箱を回転させます。自分の得意な方の手から。回転させた手は逆手になります。出来たら元に戻す。



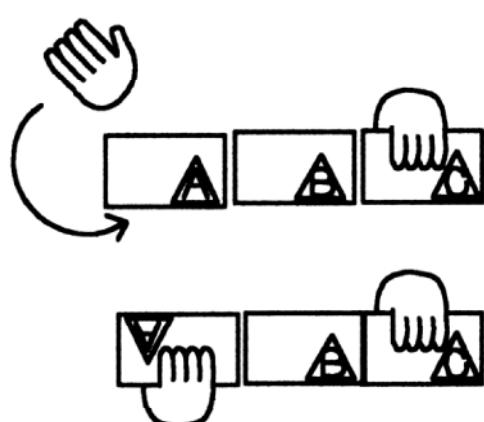
<バリエーション>

注意点：逆手になった時、逆手になった方の手の腕の脇を絞めるような感じで。

右。左。左右同時。右を逆手にしておいて、左を回転させるときに右手を元に戻す。これを繰り替えす。

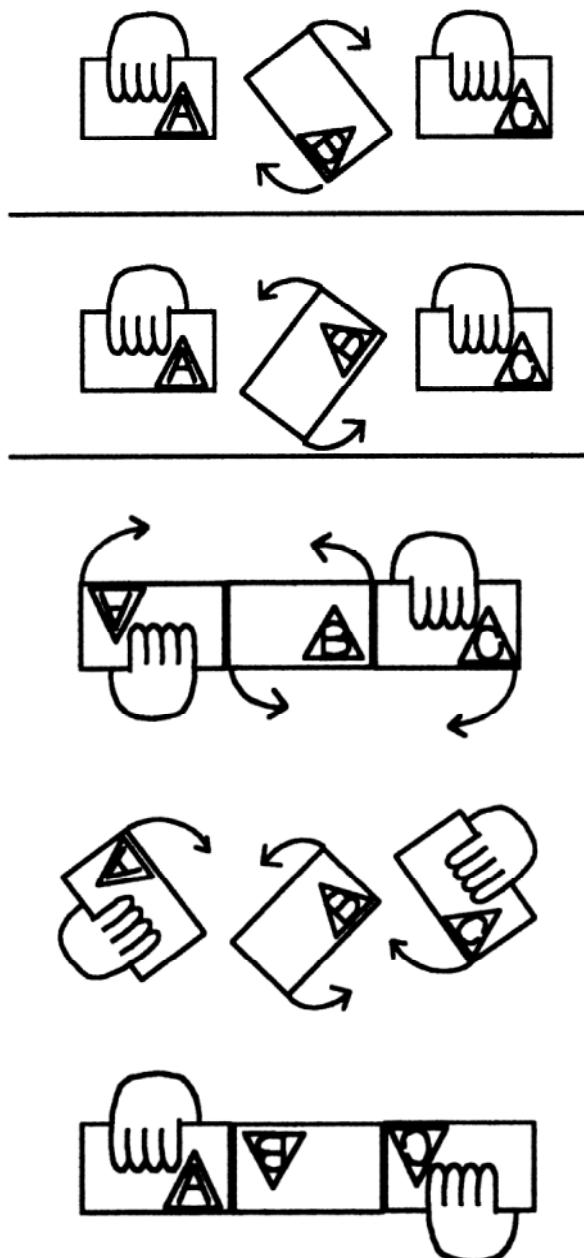


上の状態から今度は左右を同時に回転させる。ホームポジションから左右同時に回転させる。



その他にも、箱はそのまままで、手だけを回転させる。もちろん左右の手。同時に両方の手。

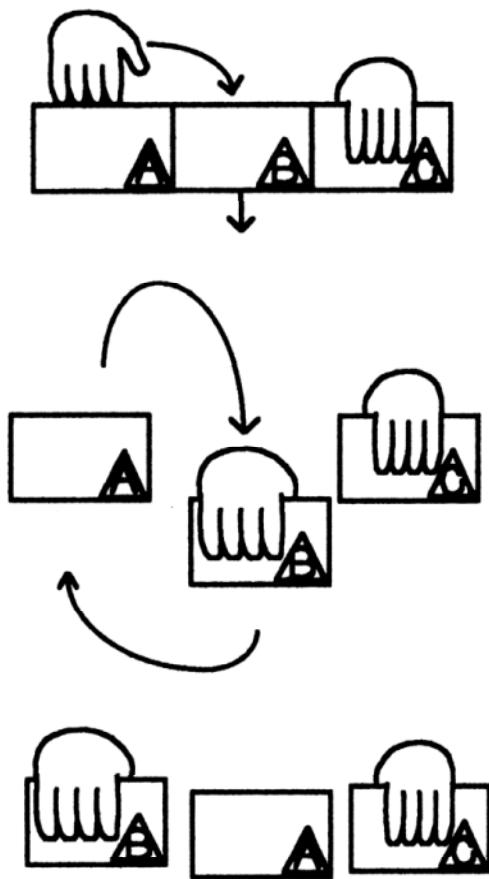
中央の箱を回転させる(左右、半回転と1回転、それ以上)



Step4 テイク・アウト

真ん中の箱を回転させると同時に左右の箱も回転させる。左右どちらかの手は逆手の位置から。

よく言われる「中抜き」。
ひざのクッションを使って上体が伸びると同時に右手で真ん中の箱を掴み、そのまま下の方(もしくは自分



<バリエーション>

の体の方へ)へ。
コツとしては、一連の動作でやること。

- 1.右手を続けてやる。
- 2.左手を続けてやる。
- 3.右左交互にやる。

- 4.真ん中ではなくて端の箱を抜く。(左右)
- 5.端の箱を抜く、左右同時。

今回は初めてにしてはかなり難しいことも書いてありますが、次回はこれらのワザの応用編をやってみたいと思います。
それでは次回までしっかりシガってくれよ！(?)



ワークショップ リポート

【レ・クザン ワークショップ】

しゅうちょうです。

9/21, 9/22に大阪のレ・クザンワークショップに参加してきました。

今回は、参加者が30人くらいで、初心者の方も何人かいきました。

レ・クザンの3人が、3つのクラスに分けてそれぞれ一人ずつ講師をしました。

初日は初心者コースとジャグリングテクニックコースとクラウンコースの3つに分かれました。

私はクラウンコースの方に参加しました。

クラウンコースの方には8人の人が参加しました。

最初はショーに出る前の控え室のときと、ショーに出た瞬間の自分の気持ちの違いをつくるようにということでした。1・2・3・4・5で5のときに一気に自分を変える、ということをやりました。1・2・3・4のときは楽屋にいるときで、5で舞台に立ったときの気持ちに切り替えるということです。

その次はみんなで輪になって徐々に笑いを大きくしていくというのをやりました。これは、最初の人がちょっと笑って隣の人を見る、そして隣の人はそれを見てそれよりちょっと大きな笑いを作り隣の人を見る、というのを繰り返していくというものでした。最初は2周した時点でもう大笑いとなっていましたが、『それではははやすぎる。最低5周しないといけない。』と言われてしまいました。

この時の注意点は、前の人への笑いを自分の中に取り込んでそれに自分の中の笑いをプラスして次の人に送るようにする、ということでした。

これはやってみるととても難しいもので、笑いに段階をつけるのがとても大変でした。

次にやったのは、2人一組になって一人が手のひらをかざし、もう1人がその手のひらから30cmぐらい離れたところからその手のひらを見るというでした。このときに、手のひらをかざしている方の人は、ゆっくり手のひらを動かします。

それに合わせてもう一人のほうは顔を動かしていきます。

顔と手のひらは、常に30cmを保つようにします。

やってみると、手のひらをかざしてると自分がもう一人を操ってるような気分になります。お互い集中して、二人が一つになるようにしなさいということを言われました。

しかし、私はいつも1人でやっているので他の人の連携がとても大変でした。

今度はまた2人一組になって間違いさがしをやりました。

1人がもう一人をよく観察します。

その後その人が後ろを見ているときに、もう一人が自分の身に付けてる物(服とか時計とか)を1箇所だけ変えます。

それを当てるというものです。

これも集中力がとてもあります。

ゲーム感覚で楽しめますが、結構難しかったです。

最後に2人一組で、一人が目隠しをしてもう一人がその人をナビするというのをやりました。

ナビするほうは指一本でナビします。(背中にあてて前進、肩にあてて方向転換、離すと止まれ)

目隠ししていると何も周りが見えないので、すべてをパートナーに任せないといけません。

パートナーの指の感覚のみに全神経を集中してるのでですが、それでも方向変換とかの時には1歩も2歩も遅れてしまいました。

また、目隠ししたまま部屋の端から端まで全力疾走す

るということもやりました。

これは空間をつかむ訓練だということでした。

どの練習にも共通して言わされたことは、集中するということでした。

後、それとは別にショーの構成等についていろいろなアドバイスがありました。

・ショーの中で、リズムやテンポ、スピード感を変えるようにした方がいい。

・自分のテンションもいろいろ変えて声や動作に抑揚をつけるといい。

・意外性を作るようにするといい。

・ショーの時の服装は大切。

こうして3時間はあっという間にすぎてしまいました。

2日目はまた違うクラス分けになりました。

ジャグリング(初心者&テクニック)とバランス芸とクラウンの3つです。

私はバランス芸の方に行きました。

最初は倒立の練習のしかたを教えてくれました。

まず、手は肩幅にするようにといわれました。

そして壁から30cmくらい離れたところに手を置いて壁に向かって倒立をしました。

このときに、注意点として常に手で床をプッシュするようにといわれました。

特に降りるときにプッシュを忘れやすいので気をつけるようにといふことでした。

そして、肩を入れるようにといわれました。

壁掛け倒立のときは、まだ腰の方は折れているので、その後に足を壁から離すときに腰をまっすぐにすることにということでした。とにかく床をプッシュすることは忘れないようにといわれました。

その後は正座した状態から倒立にもっていくという練習をしました。正座の状態から、徐々に起き上がっていき

そして倒立するのです。

これは、足で勢いがつくれないのでとても大変です。

このときも常に床をプッシュするようにといふことでした。

後、私の場合は腰を上げた時に肩が抜けてしまうということで、常に背中を丸めてるようにしなさいといわれました。

背中が反ると肩が抜けてしまうのです。

これは結構難しいけど、肩入れの感覚が少し分かりました。

後、3点倒立も練習しました。

この注意点は、ちゃんと3つに均等に体重がかかるようにといふことでした。

そして、その後ローラーバランスのワークショップに移りました。

ローラーバランスのワークショップでは、みんながいろいろ質問して、それに口口(講師)が答えていくという形を取りました。

ローラーの基本練習は次のように言われました。

まず最初は片手片足の状態からローラーに乗るようにする。

そして、片手片足から乗るさいにもう片足を乗せたときの姿勢(中腰)の状態でまずバランスを取る。

そして、中腰でバランスが取れたら徐々に状態を起こしていく。

さらに、ローラー上でしゃがんで立ち上がってを繰り返しやる。

さらに、ローラー上でバランスを取るさいに、ひざを曲げてひざでバランスをとるようといわれました。

私がやっていたのは、足を伸ばして腰でバランスを取るやり方だったのですが、にれば端っこに行ったときにす

こんと板が抜ける危険性があるからひざでバランスを取った方がいいということでした。

後、両手もバランスを取る際には重要だといわれました。

それは、ローラーのほかの技でも同じです。たとえば横を向く(足も横を向ける、つまりからだの前後に足があり、その下に板、そしてローラー、前後にローラーはれます。)時、それから足をそろえる時、ジャンプする時やハーフターン(ジャンプして半回転)する時も同じです。

特にジャンプするときには、着地の際にひざをしっかり使うように言わされました。

着地のときに思いっきりしゃがむくらいでいいといわれました。

また、横を向くときには、両足の位置が一直線上にならないようにするようにといわれました。(つまり右足は右側、左足は左側)後、ハーフターンのさいには上体から回るようにといふことでした。

腕で回転をつけて回るということです。

そして、その際目線はローラーを見るようにといふことでした。

そして他にもいろいろな技を教えて頂きました。ローラーに乗ってる状態から、片手片足に持つていき、そこから片手の方のひざを板に乗せ片ひざ片足にするとか、さらに両膝にするとか、高さのあるところでローラーに座るとかちょっと変わった乗り方も教えて頂きました。

後、ローラー上で縄跳びや縄を短くして(30cmくらい)それを飛び越すとか、ハーフターンを連続でやるとかハーフターンと縄越えを同時にやるとかも見せて頂きました。

ローラー上の縄跳びの縄はちょっと重めの縄で長さはローラーに引っかかるないようちょっと短めでといわれました。

そして、5段ローラーのやり方も教えて頂きました。これは、最初の練習は、ローラーを縦横に2段重ねにして練習するといふことでした。この方が難しいのでこれでバランス訓練を取るといふことでした。

そして、5段ですが、3段でまず教えて頂きました。3段も5段も基本的にはあまり変わらないということでした。

そして3段の乗り方ですが、片手片足で乗る準備をして、何かにつかりながらもう片足を乗せるといふことでした。

そして両足乗つたらまずその状態(中腰)でバランスを取り、そこから徐々に上体を起こしていくようにといふことでした。(最初と同じ)

そして、最後にローラーの大きさについてもいろいろいわれました。

まず、体格に個人差があるので人それぞれにあった大きさのローラーを探すようにといわれました。

ちなみに私(身長173、体重60)の場合はローラーの直径が17cmくらいで板の長さは65~70cmくらいがいいといわれました。

そして、ローラーの幅と板の幅についてはローラーの幅を板の幅より5cmくらい長めにした方がいいといわれました。

これは、板に乗ってる状態でもローラーが見えるからということです。

そして、ローラーにすべり止めをつける場合は両端にだけつけるのはよくないといつてました。(某メーカーのように滑り止めをまったく付けないか、つけるなら全面につけるようにといふことでした)。

これは板がずれたりとかすることがあるからだと思います。

後、板のほうの滑り止めは、口口は薄いゴムをローラーの下の板(台があればその上面)と板の下面につけているということでした。

これは、ローラーが変な動きをしないようにといふことです。

そして、板の両端に止め棒がついてる板がありますが(これも某メーカーのようだ)、これはよくないということでした。

理由は、初心者ならあってもいいけど、いろんな技をやるようになったときに自分の感覚でぎりぎりをつかめなくなるからということでした。

ローラーは自分でコントロールできるようになってくれば板の端から端ぎりぎりでコントロールできるけど、その止め棒があると感覚じゃなくって止め棒に当たったからということで端っこを感じるようになってしまふからいけないということでしょう。

こうして2日目のワークショップは時間を大幅に延長して(30分ほど)みっちり教えて頂きました。

最後はみんなで講師の3人にメルシー(フランス語でありがとうございます)といって終わりました。

ほんとに密度の濃いワークショップでとってもためになりました。

ほんとに口口、ジュロ、ルネにはお世話になりました。メルシー!!!!



こういったワークショップが日本でほとんどないという現

スクール紹介

【ジャグリング講座】

◇入門クラス(特別講座・初心者対象)

12/7,12/14,12/21 火曜日 19:00~20:00

全3回 9,000円(入会金不要)

定員15名

電話申込不可

◇経験者クラス(カスケードを理解していればOK)

1/12,1/26,2/9,2/23,3/8,3/22

第2・4水曜日 19:00~20:00

全6回 16,800円。

新規入会者は別途入会金6,000円(3年間有効)

定員18名

電話申込不可

◇春のジュニア講座 ~ジャグリングに挑戦!~

(特別講座・対象小学4年生~高校生)

3/8,3/22 火曜日 17:20~18:35 全2回

お子さまのみの参加 5,000円(入会金不要)

親子での参加 7,000円(" ·親子一組)

定員15組

2/16(水)から電話にて予約受付け

連絡先: 東急セミナーBE渋谷(03-3477-6277)

場所: 全て渋谷の東急プラザビル7・8F

講師: 石川 健三郎 <kenchan2@gol.com>



独り言

【ああ、勘違い！】

とある結婚披露宴に列席したときの体験談です。

司会者の方は40才前後の男性で、プロだけあって流暢な話し方や時間通りの宴席の舵取りなどは、当然のこととは言えさがでした。

しかし披露宴の司会者にとって、最低限必要なこととは何でしょう。

司会者に要求される役割には多くのものがあるでしょうが、一番大切なのは、列席者全員が抱いている新郎新婦を暖かく祝ってあげようという気持ち、すなわち“愛情”を司会者自身が持つということではないのでしょうか。

残念ながら彼にはその“愛情”あるいは“思いやり”を感じられませんでした。

のみならず彼は何を勘違いしているのか、宴席を彼のトークライブの場に変身させてしまったのです。

列席者の方々のスピーチに対して、あるいはテーブルを一つ一つ廻ってはマイクを突きつけ半ば強制的に聞き出す友人等からの祝辞に対して、ご丁寧にもいちいち嫌みたっぷりな「突っ込み」を入れて、相手の困ったリアクションで笑いを取ろうとしているらしいのですが、その言葉にはトゲがありとてもユーモアのセンスは感じられません。

列席者は司会者と漫才をしに来ているわけではありませんし、司会者の独りよがりなトークに何故付き合わされなければならないのでしょうか

それは手当たり次第にお客に対して「突っ込み」を入れて、客をいじり相手を困らせて、その様を見て周囲を笑わせようとする、三流芸人のライブにありがちな演出を思い出させます。

またお色直しのために新郎新婦が中座している間に、友人関係のテーブルに出向きカードマジックやバルーンモデリングを披露したりと、その行為を見たときには半ば絶句していました。彼は何をしに来ているのでしょうか。

司会者は芸人ではなく、ましてや場違いでの芸の押し売りなんてまっぴらごめんです。

屋外でのパフォーマンスの場合、観客に手伝ってもらう光景をよく見かけます。

といったボランティアを、いわゆるいじって笑いを誘う演出も多く見受けられます、素直に笑える場合と逆に不愉快さえ感じる場合があります。

この行為は非常に危険で、特にアマチュアは自分自身のキャラクタが確立しない場合は安易に真似はしないで欲しい。へたをすると身勝手なパフォーマーが観客をいじめているようにしか見えないかも知れません。

さらに言うならば、いじらずともボランティアに対する接し方ひとつに、芸人としての技量がはっきり出てくるように思えます。

パフォーマンスの際に、どうやって笑いをとろうかとか、笑い声がしないパフォーマンスはダメだと、強迫観念のように“笑い”にとらわれずに、まずは初心に返ってジャグリングのテクニックで楽しませることを念頭に置くべきではないでしょうか。

また、自分は誰のためにどんな目的でパフォーマンスをしているのか、はっきりと自覚していないようでも困ります。

特にイベントなどで雇われた場合、演技を見ている目の前の人たち（観客）だけがお客様ではありません。自分を雇ってくれたクライアント（依頼主）もお客様です。双方のお客様の望むことは必ずしも一致しないので、どちらか一方のお客様だけを満足させるだけでは不十分でしょう。

ディック・フランコさんの奥様宛に千羽鶴を送ったことは前号でお知らせしましたが、発起人の女性にディックさんからメールが入りました。

奥様の具合はすこぶる良く、最近の病院でのチェックでも良好とのこと。はっきりした治療方法が見つかっていないにも関わらず、なぜ？とお医者さんも、驚いています。

これは、まさに千羽鶴のおかげで、折ってくれた皆様の気持ちが大きな心の支えになっていると、2人から感謝の言葉が述べられていたそうです。

千羽鶴だけのおかげとは言い切れませんが、何にしても嬉しいことです。ご協力いただいた皆様に感謝するとともに、ご報告させていただきました。

その後

編集後記

◇石川健三郎さんの誌上ワークショップはいかがでしたか。仕上げるのにだいぶ苦労されたそうで、心より感謝申し上げます。マック（石川さんのパソコン）で描かれたイラストを、どうしてもウインドウズ（私のパソコン）で読み込めるように変換ができず、スキャナーで処理したためにイラストの線の鮮明度が落ちてしまいました。石川さん、ごめんなさい！

◇ジャグパルは私という一個人が野次馬根性丸出しで、単なる趣味として発行しているものです。
従って特定の企業、団体あるいはパフォーマー個人には一切関係しておりません。

◇1号から6号までをWeb上で見られるようになりました。（ただしPDFファイルで掲載しています）
(JugPal) <http://homepage1.nifty.com/abesan/>

◇お願いがあります。

これからはWebで見るから紙の新聞を郵送しなくていいよ、という方はご連絡下さい。（印刷物を読んだり、いたずら書きをしたり、折り紙を折ったりと、“紙”と遊ぶのが好きなので紙による発行はWeb公開と併せて続けていきます）

また、趣味で発行しているとはいえ、私のお小遣いは無尽蔵にはないので、郵便切手を寄付していただけるとありがたいです。（購読料などの名目で、金銭あるいは金銭相当品を徴収する考えは毛頭ありません）

編集発行人：安部保範

住所：横浜市栄区公田町424-9(〒247-0014)

PHS:070-5105-5083

Email: abesan@bf.mbn.or.jp Nifty: QGB02014

Web:(見世物広場) <http://plaza4.mbn.or.jp/~chafuke/>